

スナ・フジタ の世界

2019年 5月25日(土) — 6月2日(日)

定休日 29日 OPEN 11:00 — 18:00

作家在廊日 25日(土)

初日の朝にご来場頂きましたお客さまの人数により、混乱を避けるため整理券の発行や、お買い上げ作品の点数制限をさせていただく場合がございます。どうぞご了承ください。



ラッコの海ふたのもの

「スナ・フジタ」は、藤田匠平さんと山野千里さん夫妻による陶芸制作ユニットです。

15年前に「川口淳と京都市芸大で学んだ学生たち展」に山野千里さんに加わっていただいて以来、暮らしの道具店で「フジタチサト」として人気を博してきました。今回うつわ菜の花で、「スナ・フジタ」展としては初めての開催です。

始められた時から、やりたい事もあまり変わっていないし、目的ははっきりしていたそうです。「買ってくださった方、それぞれの生活空間で楽しんでもらえたらいいな。」と。

日々、お互い「こうしたらどうだろうか?」と意見を言い合って、こつこつと積み重ねて来られての今です。

当初は手分けをしていて、ろくろは匠平さん、絵付けは千里さんでスタート。匠平さんの絵付けの割合も徐々に増え、三歳の子供が居る今は、4割ほどが匠平さんの絵付けだけだといいます。

木に登ってみる男の子。木の実や鳥たち。

そこへリスが上がって来たり…。

一方、海の中で、タコ、魚、人間が昆布の間で泳いでいたり…。

それがおもしろい。ほっとする。

動物、植物、人が一つの器の中で一緒に居る世界。

「定番から新作まで、できるだけ、いろんな種類を持って来たい」と言ってくれています。

おもしろそうですね。スナ・フジタの世界があるのです。

2019年5月1日 うつわ菜の花 ● たかはしたいいち

スナ・フジタ(藤田匠平+山野千里)

2003年 京都市立芸術大学出身の藤田匠平(68-)と山野千里(77-)による作陶ユニット「フジタチサト」として活動を開始。京都を拠点に各地で発表。

2011年 瀬戸内海の島に移住。そこで制作しながら各地で発表を続ける。

2014年「スナ・フジタ」に改名。

現在 京都に居を移し、制作。

うつわ菜の花

小田原市南町1-3-12

電話 0465-24-7020

小田原駅東口より箱根方面へ
向かうバス利用

[箱根口]バス停下車徒歩2分
セブンイレブン向かい側

